資料紹介 Data

鳥取大学所蔵・青島遺跡出土の縄文土器について

高田健一¹·矢野健一²·馬上昌大³·鈴木大輔²

On the Jomon Pottery from Aoshima-site: Collection of Tottori Univ.

Ken-ichi TAKATA¹, Ken-ichi YANO², Masahiro BAJO³, Daisuke SUZUKI²

はじめに

青島遺跡は、山陰地方で最初に縄文土器が発見された遺跡として学史上著名である。明治末~大正年間に土器や石器などが採集されてきたが(梅原 1922 など)、1943(昭和 18)年に島の南側で水田造成が行なわれた際に多量の遺物が出土し、遺跡の存在が明確になった。また、子持勾玉の存在などから古墳時代の祭祀遺跡としても知られている。

1960年代後半になって、島の南側が公園化される際に発掘調査が行なわれ、縄文~古墳時代にかけての複合遺跡であることが改めて知られるようになった(とっとり考古談話会 1965, 1967)。鳥取県東部では、この頃までに知られていた縄文時代の遺跡はごく少なかったため、1990年代以降の資料充実に至るまで、青島遺跡の縄文土器はこの地域の縄文土器編年を考える上で重要な位置を占めてきた。

既往の出土資料の多くは鳥取県立博物館に収蔵されてきたのであるが、それらの資料と表裏一体をなすものとして鳥取大学所蔵資料があることは、ほとんど知られていない。

近年の発掘調査によって、良好な縄文土器資料が大幅に増加したため、学史的意義は残るものの、青島遺跡出土資料の重要性は相対的に低下したと言わざるを得ない。その一方で、既存資料の再整理・再評価が不十分なために、古いままの認識が固定化し、更新されない弊害もある。従来、青島遺跡は縄文時代後期以降

の遺跡として知られてきたが、後述するように、鳥取 大学所蔵資料中には少なからず中期段階の土器片が存 在する。近年の鳥取西道路建設工事に伴う発掘調査に よって、青島遺跡の周辺でも中期以前に遡る遺跡の存 在が明確になりつつあるが、これら最新の成果を検討 する際にも、必要な手がかりを提供しうると考える。

本稿では、縄文土器を中心に、鳥取大学所蔵資料の紹介を行なう¹⁾。今後の研究の一助となるならば、幸いである。

1. 青島遺跡の位置と周辺の歴史的環境

青島遺跡は、鳥取平野西端部の湖山池南岸近くに位置する青島に所在する(図 1-1)。島の南側を中心に遺物が出土しているが、北側にも遺物採集地点が散在するため、ほぼ全域を遺跡として認識しておく方が妥当であろう。青島は、南北 700 m、東西 300 m、周囲 1.8 km ほどの小島で、凝灰角礫岩などからなる河原火砕岩を基盤とする。池の南岸から約 200 m の位置にあるものの、水深 2.5 m までのやや浅い部分が島の周囲と池の南岸部をめぐっている。湖底地形の解析と湖底出土の土器から、弥生時代の一時期に半島状の地形をなした可能性が考えられているが(赤木他 1993)、多くの場合は島として存在したと考えられる。

周辺は 1980 年代から宅地開発や運動場建設,道路 工事に伴う発掘調査が行なわれており,縄文時代の遺跡としては,桂見遺跡(図 1-5),布勢遺跡(図 1-7)

「鳥取大学地域学部 〒 680-8551 鳥取市湖山町南 4-101

Fac. of Regional Sciences, Tottori Univ., 4-101, Koyama-Minami, Tottori 680-8551, Japan

E-mail: takata@rs.tottori-u.ac.jp

²立命館大学大学院文学研究科 〒 603-8577 京都市北区等持院北町 56 - 1 Fac. of Letter, Ritsumeikan Univ., 56-1, Touji-in-Kita, Kyoto 603-8577, Japan

E-mail: kyt21175@lt.ritsumei.ac.jpm

3 安来市役所 〒 692-8686 島根県安来市安来町 878-2

Yasugi city office, 878-2, Yasugi, Shimane 692-8686

E-mail; nocturne.th@gmail.co

[受領 Received 30 November 2017 / 受理 Accepted 29 January 2018]

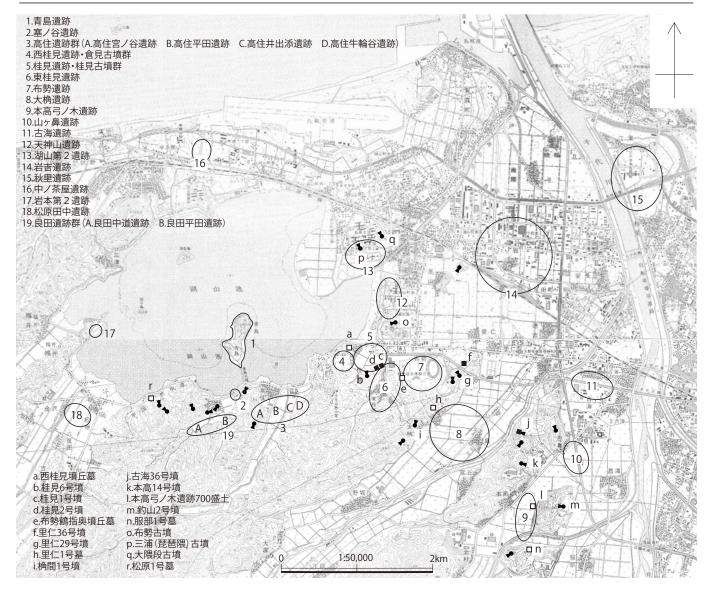


図1 青島遺跡と周辺の主な遺跡

がよく知られる。桂見遺跡では、前期末の大歳山式、中期末の北白川 C 式土器も報告されているが、主要な時期は後期以降にあり、布勢遺跡も同様である。布勢遺跡は、この地域の磨消縄文土器~縁帯文土器の成立過程を示す布勢式(久保 1987)の名祖遺跡でもある。

近年では、山陰自動車道鳥取西道路の建設工事に伴って、湖山池南岸が広域に調査され、新たな縄文時代遺跡が知られるようになってきた。とりわけ、青島遺跡の南東側に位置する高住平田遺跡や高住井手添遺跡(図 1-3B, C)でまとまった量の遺物が出土している。最も古い段階に早期前葉に位置付けられる押型文土器があり、前期前葉の羽島下層II式〜北白川下層Ia式段階の土器が出土した。従来この段階の遺物は、県内では米子市・目久美遺跡や同・鮒ヶ口遺跡など中西部の少数例にとどまっていた。また、中期初頭〜前半の鷹島式・船元I式段階の遺物が多く出土し、湖山

池南岸における定着的な人間活動が、従来の知見より も早い段階で達成されている点が重要である。

桂見遺跡や東桂見遺跡(図1-6)の調査成果によると、縄文時代後期中葉~後葉にかけて、それまで存在していた潟湖の埋積が進み、縄文時代晩期には低湿地帯に変わる(高田2015)。このような土地環境の変化を受けて、弥生時代以降は、水稲農耕に有利な谷底平野の遺跡(大桷遺跡:図1-8,本高弓ノ木遺跡:図1-9,松原田中遺跡:図1-18)や、沖積平野の遺跡(岩吉遺跡:図1-14)に活動の中心が移る。青島遺跡の対岸に位置する高住では、かつて扁平鈕式流水文銅鐸が出土しており、弥生時代を通じて遺物も出土することから、ここにも農耕を基盤とした集団の存在を推測しうる。青島遺跡で出土する弥生土器も、そのような人々の活動の一部として理解できよう。

弥生時代後期になると, 有力な墳丘墓が湖山池の南

岸地域に集中する。西桂見墳丘墓(図 1-a)をはじめ、 布施鶴指奥墳丘墓(図 1-e)、里仁 1 号墓(図 1-h)、 松原 10 号墓(図 1-r)などは、弥生時代における湖山 池南岸地域が山陰地方の中心地の一つであり、様々な 富や情報の集積地であった可能性を示唆している。

古墳時代には弥生時代のような中心性はなくなるものの,小規模ながら前方後円墳が比較的集中する地域であり,古代においても,山陰道と海上交通が交差する結節点となって,重要な地位を担った地域と考えられる(高尾 2015)。

2. 報告資料の由来と構成

本稿で紹介する遺物は、鳥取大学で長く保管されてきたもので、資料の総数(破片数)は218点ある。縄文土器が最も多く168点、弥生土器19点、土師器・須恵器6点、帰属時期不明の土器片21点がある。石器は、磨石や砥石と思われるもの、打製石鏃、扁平片刃石斧の4点がある。これらのうち、資料化した縄文土器と弥生土器170点あまりを中心に報告する。

資料は、注記の仕方で大きく2群に分けることができ、墨によるものとポスターカラーによるものに分かれる。前者には、「昭和17年6月」等と記された石器などがあり、これらは、かつて県立図書館に寄贈され、のちに県立博物館に収蔵された資料と同じ日付、採集者の氏名が記されている。また、「昭和26年」の注記がなされた弥生土器広口壷片(図5-30)には、「邑法一中郷土研究室」とある。

これらを所蔵するに至った経緯は不明だが、大学祭等の際に、学生サークルの歴史学研究会が展示を行なうことがあり、借用品が未返却のまま大学に残ったものと想像する。1960年代半ばまで、鳥取大学学芸学部は旧国府町内にあり、邑法一中(現国府中学校)とは比較的近い距離にあった。

後者の注記には、アルファベットと数字の組合せの表記があり、鳥取大学所蔵の他の考古資料と共通する。青島遺跡の資料には F, O, T, Uのアルファベットが使用されており、「F15」といった注記が施される²⁾。本稿で紹介する資料に関して興味深いのは、このような表記と並列して、「青島 001」のような、遺跡名と3桁の数字による注記が行なわれた破片が存在する点である。これは、県立博物館の考古資料の注記方法であるらしい。破片 8 点があり、それらがアルファベット注記の破片と接合する(図 2-7 など)。

県立博物館の注記方法を採用する土器片が鳥取大学 にある理由はいくつか考えうるが、上記のようにかつ ての学生が借用したまま未返却の資料だったとする と、本来は県立博物館所蔵品であり、それがアルファベット注記の鳥取大学所蔵資料と接合関係を持つということは、両者の極めて密接な関係を示すであろう。 これらが県立博物館に集約されず、鳥取大学に保管されてきた理由は定かでないが、本来は一体的に理解すべき資料群であることは疑いない。

この点を踏まえると、本来、県立博物館所蔵資料³⁾ と一体的に報告することが理想的であるが、紙幅の都合と整理の進捗状況により、鳥取大学所蔵資料のみ報告する。

3. 出土土器について

(1) 概要

鳥取大学所蔵青島遺跡出土土器は約 170 個体である。これを次のように分類する。

第1群 縄文中期の土器

a類 船元 I·Ⅱ式

b類 船元Ⅲ式

c類 船元IV式

d類 里木Ⅱ式

e 類 北白川 C 式併行(中期末後期初頭の ものを含む)

f類 縄文中期(細分困難)

第2群 縄文後期の土器

a 類 中津式

b類 福田K2式

c類 布勢式

d類 崎ケ鼻1式

e類 崎ケ鼻2式

f類 一乗寺 K 式・元住吉山 I 式

g類 元住吉山Ⅱ式

h類 宮滝式

i 類 縄文後期(細分困難)

第3群 縄文施文土器

第 4 群 縄文·条線施文土器

第5群 弥生土器

第6群 土器底部

第3群は縄文時代の土器に限られ、前面に縄文を施文する縄文中期の土器が多く含まれているとみてよい。第4群は弥生土器と判断できないものに限られるので多くは縄文土器であり、全面に条痕や条線を施文する縄文後期の土器が多く含まれているとみてよい。

第1群と第2群はおおむね同じ程度の量であり、縄 文中期前葉の船元I式以降、縄文後期後葉の宮滝式ま でほぼ連続的に土器型式が確認できる。弥生土器は少 数だが、比較的大きな破片が目立つ。数量的に見て、

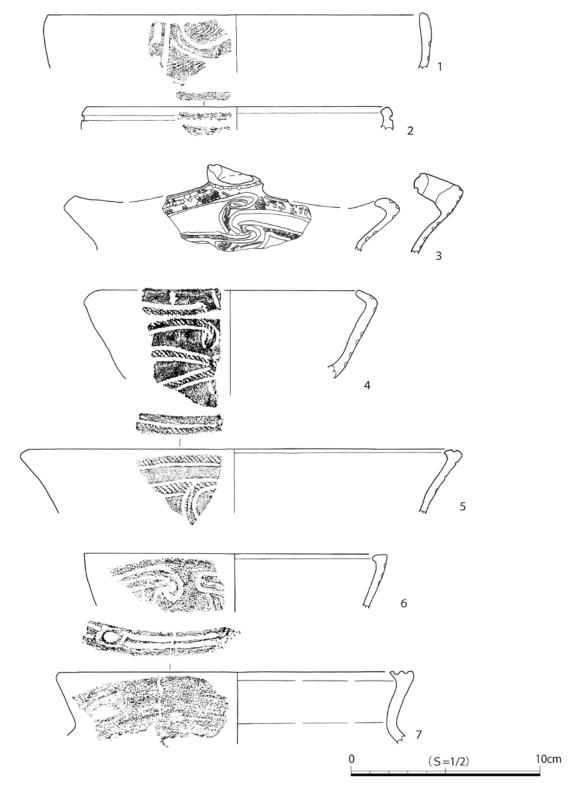


図 2 青島遺跡出土土器 (1)

第6群の土器底部も多くは縄文土器と考えられるが、 丸底があり、縄文晩期の土器や庄内式以降の土器も含まれている可能性がある。

これまで青島遺跡出土土器は縄文後晩期の土器や弥生土器,および須恵器や土師器が知られていた(小口2017,とっとり考古談話会1965・1967)。鳥取大学所

蔵資料には縄文後期と同程度の量の縄文中期の土器が含まれている点、従来知られていた資料とは異なる。従来知られていた縄文土器は1965・1966年の発掘調査(調査担当はとっとり考古談話会)の出土品が中心とみられるので、鳥取大学所蔵資料にはこれとは異なる地点から出土したものが含まれているのだろう、た

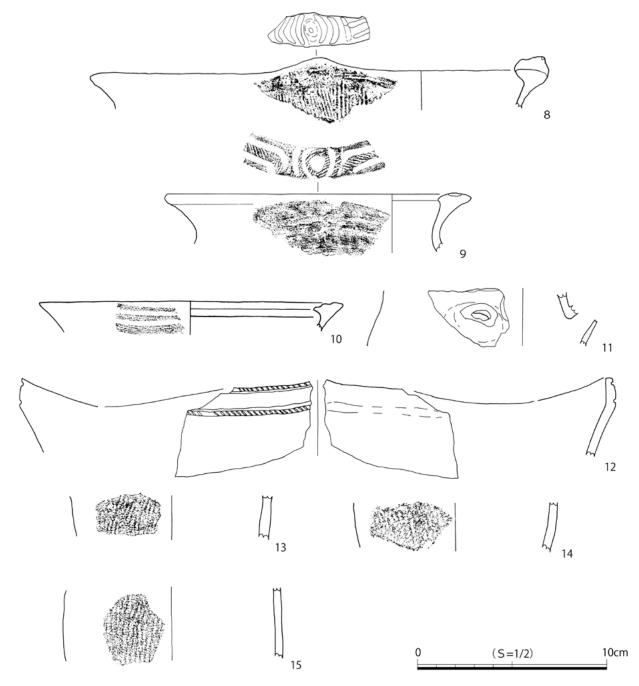


図3 青島遺跡出土土器(2)

だし、縄文後期の土器については、従来知られていた 時期のものとあまり変わらない。

(2) 第1群

a 類 船元 I・II 式 (図 6-36~44・46~48) 36 は 地文に縦長で繊維痕の目立つ縄文が施され、微隆起線 上に連続爪形文がみられる。幅 10 mmの半截竹管状工 具を用いたと考えられる。右側の方が刺突が深い。37 は波状口縁を呈し、I字形の刺突文と円形刺突文を施 し、微隆起線上に爪形文がみられる。泉(2008)編年 の船元 I 式 3 期。38 は微隆起線上に幅 7 mmの連続刺 突文がみられる。39 は口縁端部外面にアルカ属の貝 の圧痕をめぐらせている。40 は外面に I 字形の刺突 文が施されている。泉編年の船元 I 式 3 期。41 は棒 状工具による口縁端部の押圧で口縁が小波状になって いる。42 は 2 本の微隆起線上を楕円形に押圧している。 43 は波状口縁に沿って半截竹管状工具による沈線が 施され、口縁端部には刻目、その直下にボタン状の添 付文がみられる。44 は器壁が非常に薄い。肥厚した 口縁部を角状工具で左から右へ押し引いている。46 は地文に縦長で繊維痕の目立つ縄文が施される。47 は節の大きな縄文(R)が施文されている。48 は繊維 痕の目立つ縄文が施されている。

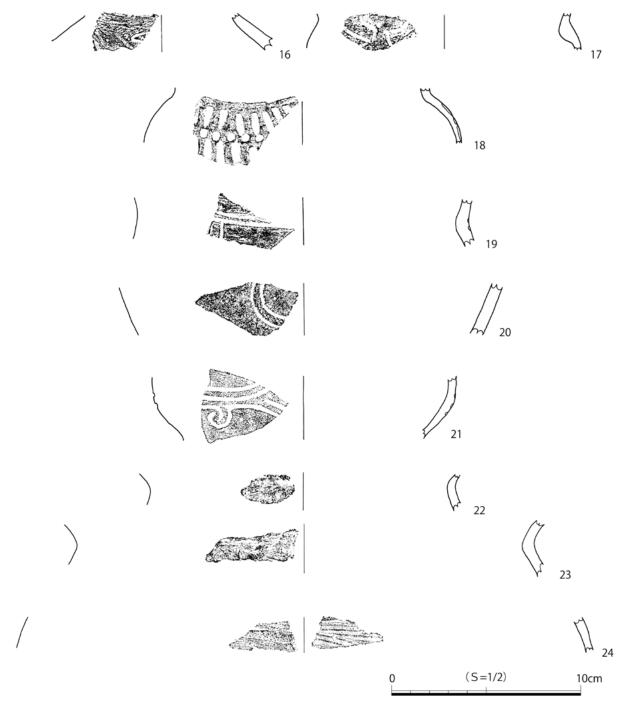


図 4 青島遺跡出土土器 (3)

37・40 は I 字形の文様から泉編年の船元 I 式 3 期に比定できる。41 は端部刻みの特徴,43・44 は口縁部の沈線の特徴,47 は無節縄文の特徴から船元 I 式とみなしうる。38・39・42 は断定しがたいが,船元 I 式か。36 が隆帯上の爪形文と器形から泉編年の船元 II 式 1 期。46・48 は判別困難。

b 類 船元Ⅲ式(図 4-18) 18 は幅 7 mmの沈線の間に刺突がみられる。『里木貝塚報告』(間壁・間壁 1971)の船元Ⅲ式 E 類。

c 類 船元Ⅳ式(図 6-45・49・58) いずれも条が 1 本 おきに深くなる深浅縄文が施されているので船元Ⅳ式 と判断した。45 は口縁端部に深浅縄文が施され、平 行沈線を基本とする三角形のモチーフがみられる。他 はモチーフがわからないので確実ではない。

d 類 里木 II 式 (図 6-53 ~ 57, 図 9-119, 図 10-140) いずれも撚糸文が施されているので里木 II 式と判断 した。深浅縄文が浅く施文されたものも含まれている 可能性はある。

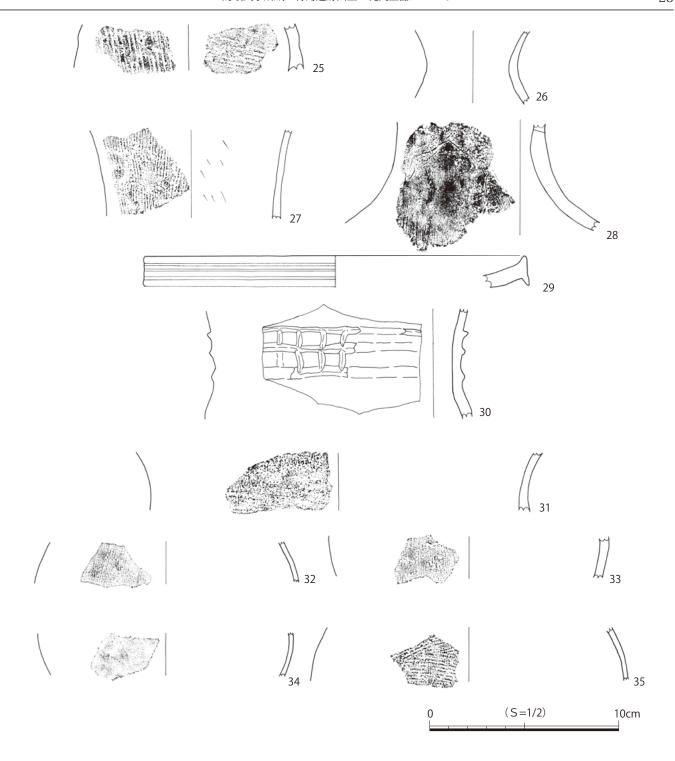


図 5 青島遺跡出土土器(4)

e 類 北白川C式併行(中期末後期初頭含む)(図 2-1・2,図 7-60~73・77)1の口縁部はやや内湾し、口縁端部は少し肥厚する。沈線による区画内に縄文がみられ、棒状工具による縦位刺突列が施されている。2の口縁部外面には横位の細かい条痕地に太い沈線が施されている。条痕は口縁端部に及ぶ。60は同一工具で口縁端部に刺突、口縁部外面に沈線と刺突が施される。下方の沈線下部にも刺突がみられる。61は口縁

端部直下に幅 6 mmの 2 本の凹線, その間を同一工具による刺突がみられる。細かい条痕がみられる。62 は口縁端部とその外面に縄文(RL)が施される。63 は口縁端部に縄文が施され,口縁端部から沈線が垂下する。口縁部内面が肥厚する。64 は口縁部内外面に条痕がみられる。口縁端部から凹線が垂下する。65 は口縁端部に縄文(LR)が施される。66 は波状口縁を呈し,2 本の沈線間に刺突がみられる。67 は波状口縁

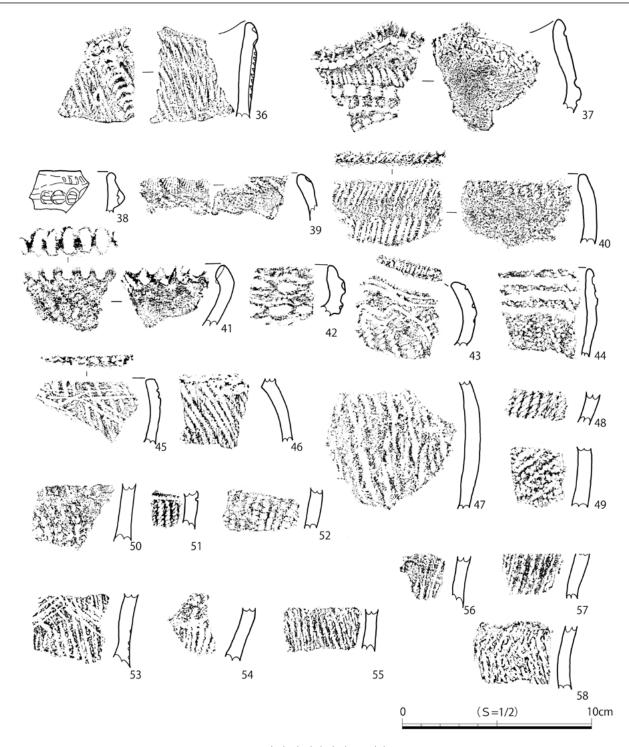


図 6 青島遺跡出土土器 (5)

を呈し、口縁端部に縄文(RL)を施す。口縁端部直下に波状文がみられる。68 は縄文(RL)を施した後、2本の沈線が施される。69 は波状口縁を呈し、口縁部に沿って2本の沈線がみられる。その下に刺突を充填する区画を有する。70 は同様の刺突を充填する区画がみられる。71 は縄文地に同様の区画を有する。72 は2本の沈線内に刺突を加えている。73 は縄文地に連続刺突列を有する。77 は沈線で連弧文を描く。

2は中津式の可能性もある。他は北白川 C 式併行期。

60・61・66~68 はその中でも新しいもの。

f 類 縄文中期(細分困難)(図 6-51, 図 7-74) 51・74 は船元式もしくは中期末。51 は繊維がやや粗いので船元式か。

(3) 第2群

a 類 中津式(図 7-59・78) 59 は口縁部が肥厚する。 78 は沈線による区画に縄文(LR)を施す。沈線内に 刺突がみられる,78 は石田(2008)の「中 1 段階」 である。

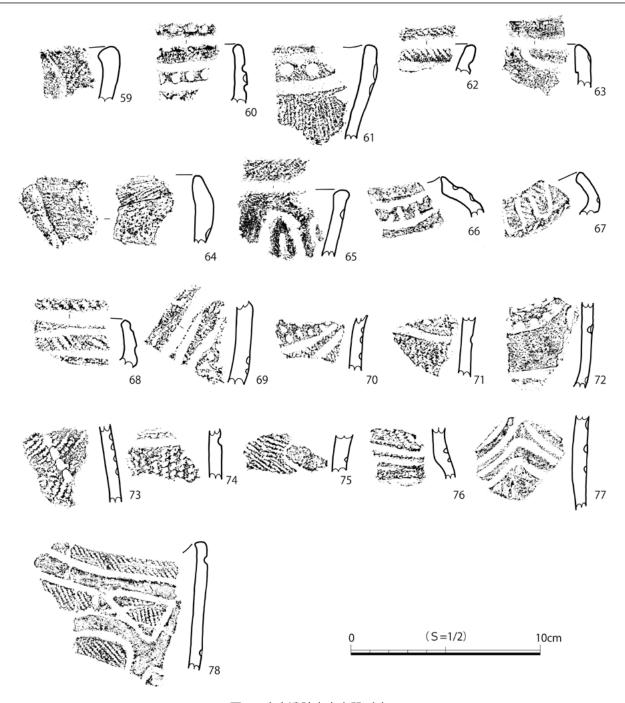


図 7 青島遺跡出土土器 (6)

b 類 福田 K 2 式(図 2-3 \sim 5, 図 4-20・21) 3 の口 縁部は「く」字形に屈曲しており,突起を有する。沈 線内に刺突がみられる。3 本 1 組ではなく,2 本 1 組 の沈線でモチーフを描く。4 は浅鉢で,同じく 2 本 1 組の沈線でモチーフを描く。5 も浅鉢かもしれない。 20・21 は布勢式の可能性もある。

21 以外の 4 点は福田 K 2 式に典型的な 3 本 1 組の 沈線ではなく,2 本 1 組の沈線でモチーフを描く。これは山陰地方など,福田 K 2 式分布圏西部の特徴である。口縁部を見る限り,福田 K2 式の最も新しい段階, 石田編年の「新 3 段階」に相当する。 **c 類 布勢式**(図 2-6・7, 図 3-8~10, 図 4-17・19, 図 8-80~83) 6 は福田 K2 式に見られる 3 本 1 組の 沈線でモチーフを描くが,モチーフの退化や縄文を消失していることから布勢式とみなしうる。7~10 は口縁端部にモチーフを描く布勢式。8 の外面は細密条痕。9 の縄文は細かい。17 は器形とモチーフから布勢式と判断した。摩耗が激しいが,磨消縄文とみられる。19 は胴部のくびれに沿って2本の沈線が走る。モチーフから布勢式と判断した。

80~83 は口縁端部外面が屈曲・肥厚する布勢式。 80 は細かい縄文地で、端部外面直下に口縁部に平行

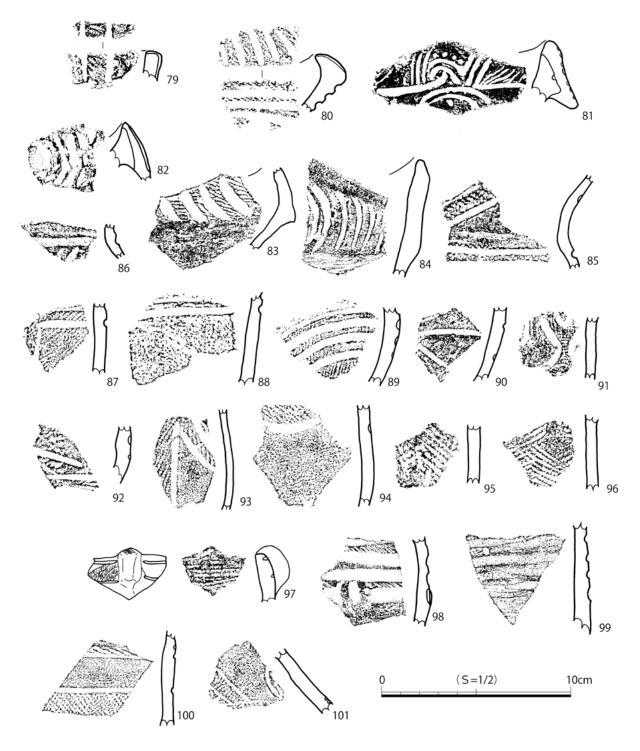


図8 青島遺跡出土土器(7)

する3本の沈線がみられる。81は口縁端部外面に沈線と刺突でモチーフを描く。内面には2対のV字状沈線がみられる。82・83は口縁外面に弧線がめぐる。83は細かい縄文地。いずれも口縁形態とモチーフから布勢式と判断した。

d類 崎ヶ鼻1式(図8-84) 84は口縁外面が広くなり、 弧線を重ねるもチーフを描く点から、﨑ヶ鼻1式と判 断した。 e 類 崎ヶ鼻 2 式 (図 8-95・96) 95・96 は胴部に羽状縄文が縦位に施されるので、﨑ヶ鼻 2 式と判断した。 f 類 一乗寺 K 式・元住吉山 I 式 (図 3-12, 図 4-16, 図 8-97・100・101) 12 は典型的な元住吉山 I 式。波状口縁を呈し、屈曲する口縁の上端と下端に細かい刻目を施す。16 は巻貝による擬縄文を施す注口土器。 97 は口端外面に 2 本の平行沈線間に縄文を施す。突起を貼付する。突起上端には縄文 (RL)を施す。100

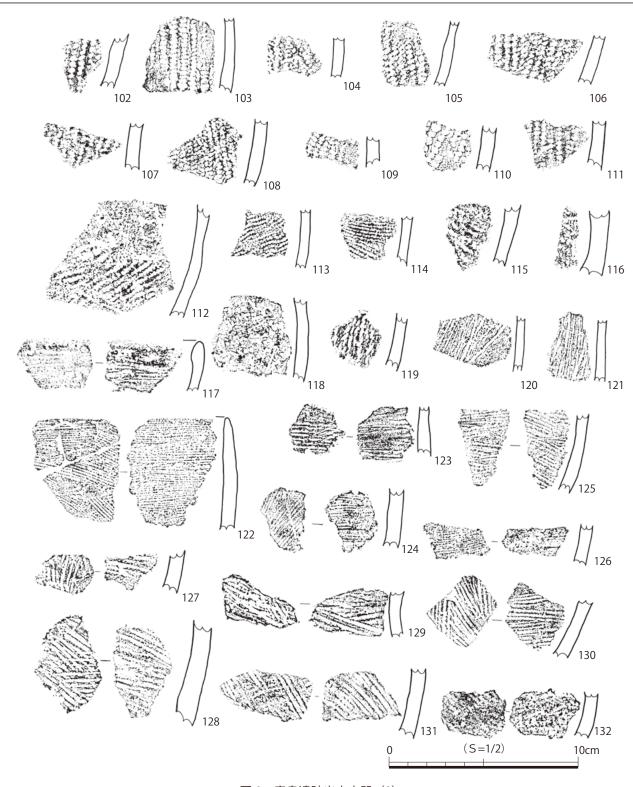


図 9 青島遺跡出土土器 (8)

は上部の沈線間に刻目,下部の沈線間に縄文(RL)を施す。101 は注口土器で,巻貝による擬縄文を施す。97・100 は一乗寺 K 式。

g 類 元住吉山 II 式(図 8-98) 98 は幅 6 mmの凹線を 2 本 1 組で 2 段施し、各段とも凹線間に刻目を施す。楕円形の粘土貼付上面に巻貝側面を押圧する。凹線の幅が広く、凹線相互の間隔が狭いので、宮滝式に近い。

h類 宮滝式(図 8-99) 凹線間に刻目がないので宮滝 式と判断した。

i 類 縄文後期(細分困難)(図 3-11, 図 4-24, 図 7-75・76, 図 8-79・85~94, 図 10-156) 11 は注口土器。24 は外面横方向の細密条痕, 内面横方向の二枚貝条痕から後期と判断したが不確実。75・76 はモチーフから見て後期と判断した。76 は2 本 1 組の沈線を施す。

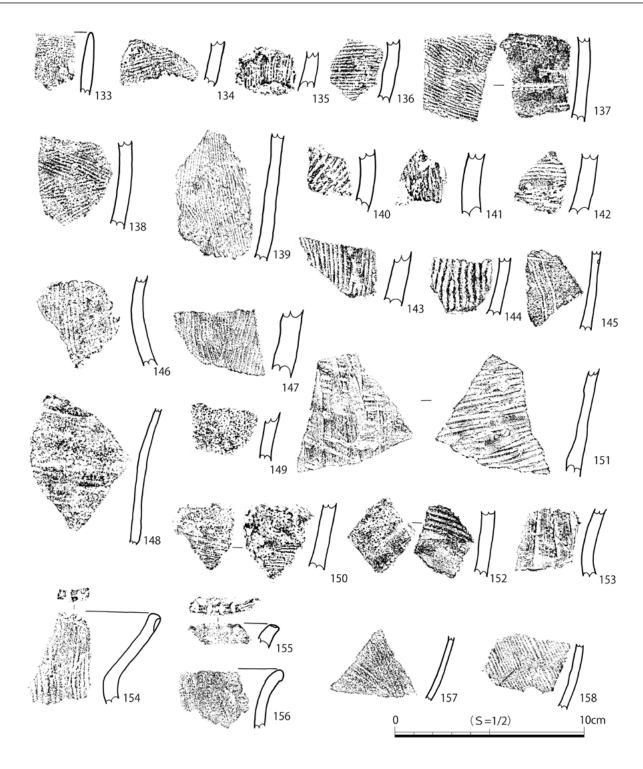


図 10 青島遺跡出土土器 (9)

79 は中津式の可能性が高い。沈線間に節の細かい縄文を施す。85 は福田 K2 式か布勢式。86 は布勢式もしくは崎ヶ鼻式の胴部と頸部との境界か。87~89 はモチーフから布勢式もしくは﨑ヶ鼻式の胴部片と判断した。87 と89 には細密条痕がある。90~94 は文様モチーフから後期と判断した。90 は径 2.5 mmの沈線,91 は径 4 mmの沈線,93 は径 3 mmの沈線,94 は径 4 mm

の沈線を施す。156 は口縁形態から後期と判断したが 不確実。

(4) 第3~6群

第3群縄文施文土器(図 3-13 \sim 15,図 6-50・52,図 9-102 \sim 116・118,図 10-144)縄文施文土器で型式確定が困難なものを一括した。 $13\sim15$ は条が縦方向になる点、船元式に似る。 $102\sim106\cdot108\cdot111$ も同様。

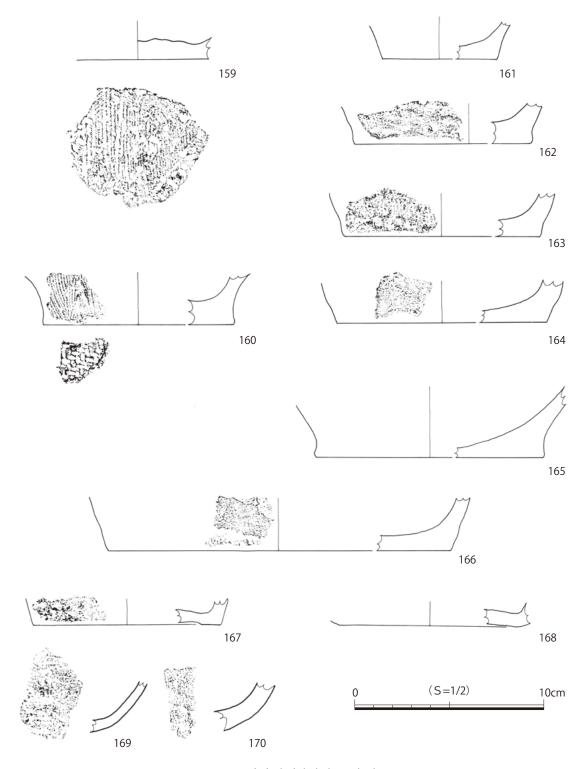


図 11 青島遺跡出土土器(10)

113・114 は特に縄文が細かく、中期ではなく、後期のものだろう。

第4群 条痕・条線施文土器(図 5-25、図 9-117・120~132、図 10-133~139、141~143、145~152) 弥生 土器と判断できるものはすべて 5 群に含めたので、ここには縄文土器が多く含まれていると考えている。120・121 は条線を施すが、他は条痕を施す。25・

 $117 \cdot 122 \sim 132 \cdot 137$, $150 \sim 152$ は内外に条痕を施す。 内面の条痕は横位か斜位に限られるが、外面の条痕は 横位・斜位・縦位、様々である。条痕の幅は 1 cm強の ものが多く、2 cmを越えるものはない。1 cmあたりの 条痕の本数は $3 \sim 5$ 本のものは二枚貝条痕と判断でき るものが多い。弥生土器にみられる「ハケメ」と同様 のものは 1 cmあたり 5 本以上のものがほとんどで、10 本を超えるものもある。

第5群 弥生土器 (図 4-22・23, 図 5-26~35, 図 10-153~155・157・158) 22・23 は器形から弥生土器の甕と判断した。前期か中期前葉か。26・27 は壺の頸部。中期か。28 は器台脚部。上部に円形の孔がある。後期か。29 は中期後葉の壺口縁部。30 は壺頸部。中期後葉か。31~35 は甕胴部。31 は前期もしくは中期前葉。32~35 は中期以降のものだが,一部は土師器かもしれない。153 は壺頸部か。154 は弥生前期の甕か。155 は口縁端部のみなので不確実だが,可能性は高い。157・158 は土師器かもしれない。

第6群 底部(図 11-159~170) 159 は底面を条痕で調整している。縄文土器だろう。160 には 2 本越え・2 本潜り・2 本送りの網代痕がある。外面は条痕。縄文後期か。他の平底および凹み底は縄文土器か弥生土器か判断に迷う。169 と 170 は丸底と判断できるものである。縄文時代のものならば縄文晩期以外には考えにくい。また、弥生時代以降ならば土師器になる。

(5) 縄文と条痕に関する考察

縄文と条痕に関しては観察表に計測値を掲載している。第 1 群 a 類の船元 I ・ II 式の縄文は 10 点中 9 点が RL で,その RL 縄文の条 2 本分の幅は $5\sim13$ mm で平均 8.4 mmとなる。他の一つは無節で特殊なものなのでここでは除外する。第 1 群 e 類,すなわち北白川 C 式併行期の縄文は 9 点中 RL が 5 点,LR が 2 点となり,両者の条 2 本分の幅は $5\sim8$ mmで平均 6.6 mmとなり,約 2 mm程度幅が縮小する。

第2群 $a \sim c$ 類, すなわち中津式・福田K2式・布勢式の縄文は 11 点中 RL が 9 点, LR 1 点となり, RL 9点の条2本分の幅は $4 \sim 7$ mmで平均 4.7 mmとなる。 LR 1 点はやや特殊な縄文なのでここでは除外する。中期末の北白川C式併行期より, さらに縄文の条2本分の幅が縮小する。

ここで計測した縄文はすべて単節2段撚りなので、 条2本分の幅は原体の径の約3倍と考えてよい。すな わち、中期から後期前葉にかけて縄文の原体は細く なっている。

第3群の土器の縄文原体は条2本分の幅が8㎜を越えるものが11点あり、それらはすべてRLである。これらの太い縄文は縄文後期のものとは考えにくく、基本的には縄文中期の船元 $I \sim III$ 式に相当する縄文である可能性が非常に高い。第3群の多くは縄文中期の船元 $I \sim III$ 式に相当するものではないか。

条痕については弥生土器とみなしたものは 1 cmあたり 4 本から 14 本の条痕がみられる。縄文土器とみなしたものには 1 cmあたり 3 本から 10 本の条痕がみら

れる。やや縄文の方が本数が少ないものが多い傾向は あるものの、条痕だけから判断することは難しい。第 4群は条痕だけからみれば、どちらとも言い難いもの が多いということになる。

おわりに

鳥取大学所蔵の青島遺跡出土縄文土器の特徴として、縄文時代中期の土器が多く含まれる点を挙げうるだろう。土器型式も連続して大きな中断期がないことは、長期間の安定的な土地利用を示している。ここから派生して、いくつかの課題が浮かび上がる。同時期以前に遡る陸域の遺跡が見つかってきた近年の調査成果をも踏まえると、従来の後・晩期の遺跡としての理解を改めていく必要があろう。島嶼としての地形利用の観点からも、各時期の遺跡の性格を再検討していく必要も考えられる。

また、土器の編年研究上の役割もまだ終わらない。 小片が多く、遺跡での出土状況など不明な点が多い資料とはいえ、近年増加した資料群と対比的、補完的に評価する余地は大いにある。今後、県立博物館所蔵資料との一体的な再整理も必要と考える。

謝辞

本稿をなすにあたって、下記の方々、諸機関のお世話になった。とりわけ、鳥取県立博物館には資料借用など多くの便宜を図っていただいた。厚く御礼を申し上げる。

酒井雅代,東方仁史,湯村功,鳥取県立博物館,鳥 取県立公文書館県史編さん室

註

- 1) 本稿の「3 出土土器について」は、矢野健一・馬上昌大・ 鈴木大輔が執筆した。図版と観察表は、著者3名と柳原麻子・ 髙橋悠・妹尾一樹・橋本菜津美・山本雅俊・松原奈緒・渡 邉裕穂・西山集・駒井翔・白石龍・三浦由槻・宮浦壱盛・ 藤原亮太が作成した。それ以外の部分は、高田健一が担当 した。
- 2) この注記は、誰がどのような目的・意味で付したものか、不明である。鳥取大学卒業生で、鳥取県教育委員会の文化財担当職に就職した方々のうちのどなたかが、母校の収蔵資料を整理しようとしたのではないか、との言説を聞いたことがあるが、その確認はできていない。
- 3) 県立博物館の青島遺跡出土資料は、登録済みの資料群と未登録の資料群の2群があり、前者はほとんど石器で126点を数える。一方後者は土器が中心で、100点以上の弥生土器、石器を含むが、全体で500点以上の縄文土器、石器が存在する。

引用・参考文献

- 赤木三郎・豊島吉則・星見清晴・谷村美弥子 1993「湖山池の地質環境と地史的変遷」『地質学論集』第 39 号, pp.103-116
- 石田由紀子 2008「中津式・福田 K Ⅱ 式土器」小林達雄編『総覧 縄文土器』アム・プロモーション, pp.634-641
- 泉 拓良 2008「鷹島式・船元式・里木Ⅱ式土器」小林達雄編『総 覧縄文土器』アム・プロモーション, pp.502-509
- 梅原末治 1922『鳥取県下に於ける有史以前の遺跡』鳥取県史蹟 勝地調査報告第 1 冊
- 久保穣二朗 1987「鳥取県下における後期前葉から中葉にかけて の縄文土器の変遷について」『森藤第 1・森藤第 2 遺跡発掘 調査報告書』東伯町教育委員会, PP.46-50
- 小口英一郎 2017「青島遺跡」『新鳥取県史 考古1旧石器・縄文・

- 弥生時代』鳥取県, pp.180-185
- とっとり考古談話会 1965「青島の遺跡」『郷土と科学』11-1, 鳥取県立科学博物館, pp.1-11
- とっとり考古談話会 1967「青島の遺跡 第二報」『鳥取郷土文化』 1, pp.32-40
- 高尾浩司 2015「古代因幡国における水運と地域支配」『錦織勤 先生ご退職記念文集』錦織勤先生ご退職記念文集刊行会, pp.13-23
- 高田健一2015「鳥取平野における土地環境の変化と弥生集落の 形成活動」『古代文化』第67巻第1号, pp.35-43
- 間壁忠彦・間壁直子 1971『里木貝塚 倉敷考古館研究集報』7, 財団法人倉敷考古館

表 土器観察表

- *1「縄文」は撚りと条2本分の幅、「条痕」は1cmあたりの条の本数を記す。
- *2 「胎土」は長石・石英以外に雲母含有をA、角閃石含有をA、どちらも含まないものをBとする。 *3「+」は破片の接合関係を示す

 図 No 分類 時代 時期・型式 器形 部位 縄立・冬扉(外面/内面) *1 調整(外面/内面) 色調 (外面

	*2	「胎土」	は長石	・石英以外に雲母含有る	をA,角l	閃石含有	「をA′,どちらも含まないものをBとする	。 *3「+」は破片の)接合関係を示す		
図	No	分類	時代	時期・型式	器形	部位	縄文・条痕(外面/内面) ^{*1}	調整(外面/内面)	色調(外面/内面)	胎土*2	注記/備考*3
2	1	1群e	縄文	北白川C式併行	深鈦?	口縁部	縄文(LR,3mm)/-	-/ナデ	灰褐/褐灰	A'	U15・青島008
2		1群e		中期末後期初頭	_	_	条痕(10本)/-	-/ナデ	灰褐/灰褐	В	青島044
-											
2		2群b	_	福田K2式			縄文(RL,5mm)/-	ミガキ/ミガキ	にぶい褐/黄灰	A	U1・青島001
2	4	2群b	縄文	福田K2式	浅鉢	口縁部	縄文(RL,5mm)/-	ミガキ/ミガキ	褐灰/褐灰	A	U6・青島004
2	5	2群b	縄文	福田K2式	浅鉢?	口縁部	縄文(RL,6mm)/-	ミガキ/ミガキ	褐灰/褐灰	Α	U2・青島002
2		2群c		布勢式	浅鉢	口縁部		ナデノナデ	にぶい褐/にぶい褐	В	U9・青島
	О	△和干C	飓人	11分八	戊骅	口冰可	-7-) / / /	(Car hell (Car hel	ь	
2	7	2群c	縄文	布勢式	深鉢	口縁部	-/-	ナデ/ミガキ	灰黄褐/褐灰	A	U3・青島005+青島O38 +U18+青島O61
3	Q	2群c	縄文	布勢式	深鉢	口級郊	条痕(6本)/-	-/ナデ	にぶい褐/黒褐	В	U23・青島
-					_						
3		2群c		布勢式	深鉢		縄文(RL,4mm)/-	ナデ/ナデ	黒褐/にぶい褐	В	U4・青島006
3	10	2群c	縄文	布勢式	深鉢	口縁部	-/-	-/-	灰黄褐/灰黄褐	В	青島042
3	11	2群i	縄文	後期	注口	胴部	-/-	ナデ/ナデ	にぶい褐/灰黄褐	В	青島07
3		2群f		元住吉山 I 式	深鉢	口縁部		ナデ/ナデ	褐灰/褐灰	A	U8・青島
Ť			_	九圧口田 1 八							
3		3群	縄文		深鉢	胴部	縄文(LR,8mm)/-	-/ナデ	にぶい赤褐/にぶい赤褐	В	T43
3	14	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,10mm)/-	-/ナデ	にぶい赤褐/褐灰	A´	T13
3	15	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,8mm)/-	<i>-</i> /ナデ	にぶい赤褐/黒褐	В	青島O25+青島O64
4				元住吉山 I 式	注口	頸部	擬縄文 (巻貝)/-	ミガキ/ケズリ	灰黄褐/黄灰	A	青島O27
4					_						
4		2群c		布勢式	深鉢	胴部	縄文(RL,7㎜)/-	ナデ/ナデ	灰褐/灰黄褐	A	青島051
4	18	1群b		船元Ⅲ式	深鉢	胴部	-/-	-/ナデ	にぶい褐/灰褐	В	U20
4	19	2群c	縄文	布勢式	深鉢	頸部	-/-	ナデ	褐灰/灰黄褐	В	青島033
1		2群b		福田K2式?	浅鉢?	胴部	#文(RL)/-	ミガキ/ミガキ	灰/灰黄褐	A	青島04
4							1				
4		2群b		福田K2式?	浅鉢	胴部	縄文(LR,3mm)4条分,撚り戻し?/-	ミガキ/ミガキ	黄灰/褐灰	A	U5・青島007
4		5群	弥生?		甕?	頸部	-/-	ナデ/ナデ	灰黄褐/灰褐	В	F13
4	23	5群	弥生?	弥生?	甕?	頸部	-/-	ナデ/ケズリ	にぶい褐/にぶい褐	В	F12
1	_	2群i	縄文	後期?	深鉢	胴部	条痕(8本)/条痕(3本)二枚貝	-/-	にぶい褐/灰褐	В	T35
5		4群	縄文	-	深鉢	胴部	条痕(3本)二枚貝?/条痕(3本)二枚	-/-	灰黄褐/褐灰	A	T28/繊維含
- 5		5群	弥生	中期?				, ミガキ/ナデ	灰褐/褐灰	_	
9					壺	頸部	-/条痕(5本/0.5cm)		× -1 + 1 +0 +	A	青島059
5	27	5群	弥生	中期?	甕	胴部	条痕(5本)/-	-/ケズリ	灰黄褐/にぶい褐	В	
5	28	5群	弥生	後期?	器台	脚部	条痕(11本)/条痕(7本)	-/ナデ	灰褐/灰黄褐	A	O31/燒成前穿孔
5	29	5群	弥生	中期	壺	口縁部	-/-	-/-	にぶい黄橙/にぶい黄橙	A	V2
H									, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		昭和二六年六月二日青島
5				弥生Ⅲ期	壺	頸部	-/-	-/-	灰褐/黄褐	В	出土 邑法一中郷土室
5	31	5群	弥生	中期	甕	頸部	条痕(11本)/条痕(12本)	-/ナデ	にぶい褐/灰褐	В	T45
5	32	5群	弥生	-	甕	胴部	条痕(10本)/-	-/-	褐灰/褐灰	A	F8
5		5群	弥生	_	甕	胴部	条痕(7本)/-	-/-	灰黄褐/灰褐	В	T12
5			_		_						
5		5群	弥生	•	甕	胴部	条痕(8本)/-	-/ナデ	褐灰/灰黄褐	В	T20
5	35	5群	弥生	-	甕	胴部	条痕(5本)/-	-/ケズリ	褐灰/にぶい褐	В	F19
6	36	1群a	縄文	船元Ⅱ式	深鉢	口縁部	縄文(RL,8mm)/縄文(RL,8mm)	-/-	にぶい黄橙/褐灰	В	U13・青島
6		1群a		船元 I 式	深鉢		-/縄文(RL,8nm)	-/ナデ	褐灰/暗灰	В	注記なし (U36?)
0		_					·			В	
6		1群a		船元 I 式?	深鉢	口縁部	-/-	-/ナデ	灰褐/褐灰		青島043
6	39	1群a	縄文	船元 I 式?	深鉢	口縁部	-	-/ナデ	灰黄褐/にぶい黄橙	В	青島01
6	40	1群a	縄文	船元I式	深鉢	口縁部	縄文(RL,10mm)/-	-/ナデ	にぶい黄橙/にぶい褐	В	U28・青島
6	41	1群a	縄士	船元 I 式	深鉢		縄文(RL,8mm)/-	-/ナデ	にぶい褐/黒褐	Α	D12・青島
6				船元 I 式?			縄文(RL,5mm)/-	<i>-</i> /ナデ	灰褐/灰褐	+	U40・青島
6	43	1群a	_	船元 I 式	深鉢	_	縄文(RL,13mm)/-	-/ナデ	にぶい褐/にぶい赤褐	A	U3(U31?)・青島
6	44	1群a	縄文	船元I式	深鉢	口縁部	縄文(RL,8mm)/-	-/ナデ	灰褐/褐灰	A	D84・青島
6			_	船元IV式	深鉢	_	縄文(RL,10mm)深浅/-	-/ナデ	にぶい褐/灰黄	В	U39・青島
6		1群a		船元Ⅰ・Ⅱ式	深鉢	胴部	縄文(RL,7mm)/-	<i>-/ナデ</i>	灰黄褐/褐灰	В	青島019
\vdash											
6		1群a		船元 I 式	深鉢	胴部	縄文(R,15mm)/-	-/ナデ	褐灰/褐灰	A	U22
6	48	1群a	縄文	船元I・Ⅱ式	深鉢	胴部	縄文(RL,9mm)/-	-/ナデ	灰黄褐/にぶい褐	В	T37
6	49	1群c	縄文	船元IV式?	深鉢	胴部	縄文(RL,5mm)深浅/-	-/ナデ	灰褐/灰褐	A	F16
6		3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,12mm)/-	- <i>/</i> ナデ	にぶい褐/灰褐	A	F48
в				-1-110				1		_	
6		_		中期	深鉢	胴部	縄文(RL,8mm)/-	-/ナデ	にぶい黄褐/灰黄褐	A	F10
6	52	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,8mm)/-	-/ナデ	灰褐/にぶい褐	В	F34
6	53	1群d	縄文	里木Ⅱ式	深鉢	胴部	撚糸文(R,5mm)/-	-/ナデ	灰褐/灰黄褐	Α	青島057
c					深鉢		撚糸文(L,7㎜)/条痕(5本)	- <i>/</i> ナデ		В	
ь				里木Ⅱ式		胴部			灰黄褐/灰黄褐		F7
6	55	1群d		里木Ⅱ式	深鉢	胴部	撚糸文(L,7㎜)/-	-/ナデ	にぶい褐/にぶい黄橙	A	T6
6	56	1群d	縄文	里木Ⅱ式	深鉢	胴部	撚糸文(R,6mm)/-	-/ナデ	灰褐/にぶい黄橙	A	F41
6			_	里木Ⅱ式	深鉢	胴部	撚糸文(R,8mm)/-	-/ナデ	にぶい黄橙/灰黄褐	A	T11
\vdash		_					·				
_ ^	P O	1群c		船元IV式?	深鉢	胴部	縄文 (LR+R,10mm) 深浅/-	-/ナデ	灰褐/褐灰	A	青島058
6				中津式	深鉢	口縁部	縄文 (RL,6mm)/-	-/ナデ	にぶい褐/灰褐	A	F44
6 7		2群a	縄文				,	ナデ/ナデ	にぶい褐/灰黄褐	D	ま自りのの
6 7 7	59			北白川C式併行	深鉢	口縁部	-/-	1 1 1 1 1		В	青島O23
6 7 7	59 60	2群a 1群e	縄文	北白川C式併行 北白川C式併行	_					-	
6 7 7 7	59 60 61	2群a 1群e 1群e	縄文縄文	北白川C式併行	深鉢	口縁部	条痕(6本)/条痕(10本)	-/-	にぶい褐/にぶい赤褐	A	青島O52
6 7 7 7 7	59 60 61 62	2群a 1群e 1群e 1群e	縄文 縄文 縄文	北白川C式併行 北白川C式併行	深鉢 深鉢	口縁部 口縁部	条痕(6本)/条痕(10本) 縄文(RL,5mm)/-	-/- -/-	にぶい褐/にぶい赤褐 褐灰/	A A	青島O52 F33
6 7 7 7 7 7	59 60 61 62	2群a 1群e 1群e	縄文 縄文 縄文	北白川C式併行	深鉢	口縁部 口縁部	条痕(6本)/条痕(10本)	-/-	にぶい褐/にぶい赤褐	A	青島O52
6 7 7 7 7 7	59 60 61 62 63	2群a 1群e 1群e 1群e 1群e	縄文 縄文 縄文 縄文	北白川C式併行 北白川C式併行 北白川C式併行	深鉢 深鉢 深鉢	口縁部 口縁部 口縁部	条痕(6本)/条痕(10本) 縄文(RL,5mm)/- 端部縄文/-	-/- -/- ナデ/ナデ	にぶい褐/にぶい赤褐 褐灰/	A A	青島O52 F33
6 7 7 7 7 7 7	59 60 61 62 63	2群a 1群e 1群e 1群e 1群e 1群e	縄文 縄文 縄文 縄文 縄文	北白川C式併行 北白川C式併行	深鉢 深鉢	口縁部 口縁部 口縁部 口縁部	条痕(6本)/条痕(10本) 縄文(RL,5mm)/-	-/- -/-	にぶい褐/にぶい赤褐 褐灰/ 灰褐/褐灰	A A A	青島O52 F33 青島O53

To 11 18 大学 20 11 12 24 24 24 24 24 24												
5 19 19 19 19 19 19 19	図	No	分類	時代	時期・型式	器形	部位	縄文・条痕(外面/内面)*1	調整(外面/内面)	色調(外面/内面)	胎士*2	注記/備考*3
1	7	_		縄文		淫鉥				裼灰/灰裼	_	
7	-	_		_								
5		_										
7	7	68	1群e	縄文			口縁部			灰黄褐/にぶい赤褐		
7 72 1186	7	69	1群e	縄文	北白川C式併行	深鉢	口縁部	-/-	ナデ/ナデ	灰褐/褐	В	青島O60
7 71 18	7	70	1群e	縄文	北白川C式併行	深鉢	胴部	縄文(RL,6mm)/-	ナデ/ナデ	灰褐/灰黄褐	В	青島045
7 72 1999 横元 たかした大野子 244 神田 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7	7	71	1群e	縄文	北白川C式併行	湙鈦	胴部	縄文(LR 6mm)/-	-/ナデ		В	Т30
7 7 19 189 現民 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	7	-				_					_	
7 75 12 16 17 (10 元 12 元 12 元 13 元 13 元 13 元 13 元 13 元 13		_		_								
- 7 7 76 20 円 成立 後用	-7	_										
7	7	74	1群f	縄文	中期		胴部	縄文(RL,10㎜)/-	-/ナデ		В	青島O50
7 7 19 19 20 19 10 10 10 10 10 10 1	7	75	2群i	縄文	後期	深鉢	胴部	縄文(RL,5mm)/条痕(5本)	-/-	褐/褐	В	F32
7 7 19 19 20 19 10 10 10 10 10 10 1	7	76	2群i	縄文	後期	深鉢	頸部	縄文(RL.8mm)/条痕(3本)	-/ナデ	灰褐/灰褐	В	青島011
	7	_										
8 1922年 株式 松田 日本 松田 日本 松田 日本 松田 日本 松田 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		_										
8 80日 10 20 20 20 20 20 20 20	-+	_										
8 8 22m2 (8	_										T21/内外面に赤色顔料
8 82 200 10 20 20 20 20 20	8	80	2群c	縄文	布勢式	浅鉢?	口縁部	縄文(RL,5mm)/-	-/ナデ	灰黄褐/褐灰	В	U38
8 82 200 10 20 20 20 20 20	8	81	2群c	縄文	布勢式	深鉢	口縁部	-/-	ナデ/ナデ	灰褐/黄灰	Α	U10
8 83 227年	Q	_				_					_	
8 85 2015 1 回	0	_										
8 80 29 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	8	_									_	
8 8 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	8	84	2群d	縄文	崎ヶ鼻1式	深鉢	口縁部	-/-	ナデ/ナデ	黄灰/灰褐	A	U35
8 87 2011	8			縄文	福田K2式·布勢式		頸部	縄文(RL,6mm)/-			В	
8 87 2011	8	86	2群i	縄文	後期	深鉢	頸部	-/-	ナデ <i>l</i> ナデ	褐灰/黒褐	A	青島08
8 8 20 当日 強文 後期 の数 問意 小 十戸プナデ 大阪 地域 と 後別 3 立口 で	8	_						条痕(6本)/-			_	
8 80 285 漢文 後期 漢文 285 286	8	_										
8 90 空話	-	_										
8 91 空前 建文 後期 四本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	-+										_	
8 90 2時	8	_						•				
8 93 25 第文 25 第次 25 15 15 25 15 15 25 15 1	8	91	2群i	縄文	後期	深鉢	胴部	縄文(RL,3mm)/-	- <i>/</i> ナデ	灰褐/褐灰	В	青島054
8 93 25 第文 25 第次 25 15 15 25 15 15 25 15 1	8	92	2群i	縄文	後期	深鉢	胴部	縄文/-	-/ナデ	にぶい黄褐/褐灰	Α	F52
8 91 2軒3	Q.	_		_							_	
8 95 2群6	Ť	_									_	
8 96 22年6 漁文 巻ヶ亮文字 - 12章	-	_				深銔					_	
8 99 2階度 加文 元をお山工式 深緋 脚部 ケ ナデナデナデ 灰褐灰飛灰 B U33 8 100 2階度 加文 音優元 深緋 脚部 ケ ナデナデ	8	95	2群e			-	胴部	縄文(LR,7㎜)/-		にぶい褐/褐灰	A	F18
8 99 28% 横文 元住吉山11式 深峰 脚部 ナー ナデナデー 灰褐灰褐 田 U33 133 133 133 134 135 134 135 134 135 135 136 137 135 136 137 13	8	96	2群e	縄文	崎ヶ鼻2式?	-	胴部	縄文(LR,6mm)/-	-/ナデ	灰褐/褐灰	A	青島O2
8 98 2群会 超文 元在古山工式 深鮮 別部 ナーナデナデ 契拠収穫 B U33 8 99 2群市 満文 三 孫永・ 別部 ナーナデナ デ 契拠収穫 A 育島O28 8 100 2暦間 漢文 三 朱平永式 深味 別部 接(RL,5mm)ナーナナデ 規入機反 B 育島O3 8 101 2暦間 漢文 三 在古山工式 住口 別部 経過(XEL,10mm)ナーナナデ	8	97	2群f	縄文	一乗寺K式	-	口縁部	縄文(L.4mm)/条痕(5本)	-/-	褐灰/褐灰		U47・青島
8 100 228年 瀬文 - 乗令私式 宗鉢 副部 オーナーデザー 矢橋灰黄褐 A 青島O28 8 100 228年 瀬文 - 乗令私式 宗鉢 副部 瀬文(RL,5mm)ナーナデザー 疾傷政疾病 B 青島O38 7 高の38 第文 - 栗鉢 副部 瀬文(RL,10mm)ナーナデザー 灰橋原像灰 B 青島O3 8 10 23 3 第 瀬文 - 栗鉢 副部 瀬文(RL,10mm)ナーナデザー にぶい機能に対している A 132 10 10 13 3 10 10 13 10 10 13 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	8	_		_		涇鉥		,	ナデ/ナデ		В	
8 100 2割 縄文 乗 京 K 式 深終 厨部 縄文 (RL.5am)/- ・ ナデナデ 規及 機反 (B) 音 高0.3 8 10 1 2目目 縄文 元 住 吉山 式 注 ロ 厨部 凝細文 (B) ・ ナデナデ 灰 黄 機反機 (A) ・		_	Ŭ									
8 101 2前 元文 元往吉山 五、 注口 開窓 終興文(後貝))	_	_				_					_	
9 102 3群 縄文 深鉢 桐部 縄文(RL,10ml)-	8	100	2群f	縄文	一乗寺K式	深鉢	胴部	縄文(RL,5mm)/-	<i>-</i> /ナデ	褐灰/褐灰		
9 103 3群 縄文 深鉢 開節 縄文(RL,12mm)-	8	101	2群f	縄文	元住吉山 I 式	注口	胴部	擬縄文(巻貝)/-	ナデ/ナデ	灰黄褐/黄灰	В	青島O18
9 103 3群 縄文 深鉢 開節 縄文(RL,12mm)-	9	102	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,10mm)/-	-/ナデ	にぶい黄橙/灰黄褐	A	T10
9 104 3群 縄文 ・ 深終 胴部 縄文(RL,8mm)・ ・	9	103	3群	_	-			縄文(RL 12mm)/-	-/ナデ		Α	H32
9 105 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,10mm)/- /ナデ 灰黄褐/陽灰 A 青島O46 9 106 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,10mm)/- /ナデ にぶい褐/にぶい黄橙 A 青島O40 9 107 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ 灰黄褐/魔灰 A F46 9 108 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ 灰黄褐/魔灰 A F46 9 108 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい褐/灰褐 B P27 9 109 3群 縄文 - 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい褐/灰黄褐 B U49 9 110 3群 縄文 - 深終 脚部 織文(RL,10mm)/- /ナデ 灰褐/陽灰 B 青島O10 9 111 3群 縄文 - 深終 脚部 織文(RL,7mm)/- /ナデ にぶい褐/灰黄褐 A F42 9 114 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,7mm)/- /ナデ にぶい樹/灰黄褐 A F42 9 114 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,8mm)/- /ナデ にぶい樹/灰ボい黄橙 A F42 9 114 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい樹/にぶい荷 A F56 9 116 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい樹/にぶい荷 B F53 9 117 4群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい褐/にぶい荷 B F53 9 118 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい褐/にぶい荷 B F53 9 119 18 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい褐/にぶい荷 B F53 9 119 18 3群 縄文 - 深終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい褐/にぶい荷 B F53 9 119 4群 縄文 - 淡終 脚部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい赤褐/灰黄褐 B F38 9 124 4群 縄文 - 淡終 脚部 熱糸文(L,5mm)/- /ナデ にぶい赤褐/広がい赤褐 B F38 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸変((ホー)条変((ホー) /ナデ にぶい赤褐/灰黄褐 B F38 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸変((ホー)条痕((ホー) /ナデ にぶい赤褐/灰黄褐 B F36O37 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸変((ホー)条痕((ホー) /ナデ にぶい赤褐/灰黄 B F36O37 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー)条痕((ホー) /ナデ にぶい樹/灰褐 B F36O37 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸変((ホー)条痕((ホー) /ナデ にぶい樹/灰褐 B F36O36 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー)条痕((ホー) /ナデ にぶい樹/灰褐 B F36O36 9 124 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー)条痕((ホー) /ナデ にぶい褐/灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー)条痕((ホー) /ナ /ナデ にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー)条痕((ホー) /ナ /ナ / にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 129 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー) /ナ /ナ / にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 129 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー)条痕((ホー) /ナ /ナ / にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 129 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー) /ナ /ナ / にぶい褐/灰黄褐 B F22 9 130 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー) /ナ /ナ /ナ / にぶい褐/灰黄 B F17 9 129 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー) /ナ /ナ /ナ /ナ / にぶい褐/灰黄 B F23 9 130 4群 縄文 - 深終 脚部 糸痕((ホー) /ナ	_	_						·			_	
9 106 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,10mm)- リナデ にぶい褐化ぶい黄橙 A 青島O40 9 107 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)- サナデ 灰黄褐黄灰 A F46 9 108 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)- サナデ C ぶい褐灰黄褐 B P27 9 109 3群 縄文 - 胴部 縄文(RL,9mm)- サナデ にぶい褐灰黄褐 B U49 9 110 3群 縄文 - 胴部 縄文(RL,11mm)- サナデ C ぶい褐灰黄褐 B U49 9 110 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,11mm)- サナデ 灰褐灰黄褐 B U49 9 111 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,10mm)- サナデ 灰褐灰黄褐 B P23 9 112 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,10mm)- サナデ C ぶい褐灰黄褐 B P23 9 113 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,7mm)- サナデ にぶい褐灰黄褐 B P23 9 115 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,7mm)- サナデ にぶい褐灰ボが黄橙 A F42 9 116 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,5mm)- サナデ にぶい褐灰ボが黄樹 A F56 9 116 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,5mm)- サナデ にぶい褐灰ボが積 B F53 9 117 4群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,5mm)- サナデ にぶい褐灰ボが積 B F53 9 119 118 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,5mm)- サナデ にぶい褐灰ボが積 B F53 9 119 118 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,5mm)- サナデ にぶい褐板ボが積 B F53 9 119 4群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,6mm)- サナデ にぶい褐板ボが積 B F53 9 119 118 4 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,6mm)- サナデ にぶい褐板ボが積 B F38 9 119 118 4 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(R,6mm)- サナデ にぶい褐板が積 B F38 9 119 118 4 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(R,6mm)- サナデ にぶい褐板が積 B F38 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 発液(L,6mm)- サナデ にぶい褐板が積 B F38 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 発液(A,4)条痕(Sax) ナ にぶい褐灰褐 B 青島O32 9 122 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5x)/条痕(Sax) ナ 灰褐灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5x)/条痕(Sax) ナ 灰褐灰褐 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5x)/条痕(Sax) ナ	_	_				_					+	
9 107 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)- /ナデ 灰黄褐黄灰 A F46 9 108 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)- /ナデ にぶい褐灰褐 B F27 F27	9	105	3群	縄文	-		胴部	縄文(RL,10mm)/-		灰黄褐/褐灰	A	青島O46
9 108 3群 縄文 一 原称 胴部 縄文(RL,9mm)/-	9	106	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,10mm)/-	-/ナデ	にぶい褐/にぶい黄橙	A	青島O40
9 108 3群 縄文	9	107	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(RL,9mm)/-	-/ナデ	灰黄褐/黄灰	A	F46
9 109 3群 縄文 一 胴部 縄文(IL,8mm)/- /ナデ にぶい褐灰黄褐 B U49 9 110 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(RL,11mm)/- /ナデ 灰褐尾灰 B 青島O10 9 111 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(RL,10mm)/- /ナデ 灰褐灰黄褐 B F23 9 112 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,7mm)/- /ナデ にぶい褐灰褐 A T42 9 113 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,7mm)/- /ナデ にぶい黄褐(にぶい黄橙 A F42 9 114 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,7mm)/- /ナデ にぶい黄褐(にぶい黄橙 A F42 9 116 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,9mm)/- /ナデ にぶい黄樹(にぶい黄格 A F56 116 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,9mm)/- /ナデ にぶい黄樹(にぶい黄格 A F56 9 117 4群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,9mm)/- /ナデ にぶい褐板(にぶい黄格 B F53 9 117 4群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IL,9mm)/- /ナデ にぶい褐板(にぶい黄格 B F53 9 119 184 ៨東 里本日式 深鉢 胴部 縄文(IL,6mm)/- /ナデ にぶい赤褐灰黄褐 B F38 9 119 184 ៨東 里本日式 深鉢 胴部 縄糸文(IL,6mm)/- /ナデ にぶい褐板(にぶい黄格 B F38 9 120 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐板(にぶい黄格 B F38 9 121 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐板(にぶい赤褐 B F36 53 9 121 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐灰褐 B F36 725 9 121 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) /ナ 灰褐(5本) /ナ 灰褐(5本) /ナ 灰褐(5本) /ナ 灰褐(5-本) /ナ にぶい褐灰褐 B F36 73 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) /ナ にぶい褐灰黄褐 B F15 129 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(5本) /ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(5本) /ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(5本) /ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 130 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(5本) /ナ にぶい褐灰黄褐 B F18 73 73 73 73 73 73 74 74	9	108	3群		-		-	縄文(RI. 9mm)/-			В	F97
9 110 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(RL11mm)/- /ナデ 灰褐ო灰 B 青島O10 9 111 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(RL,10mm)/- /ナデ 灰褐灰黄褐 B F23 9 112 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(R,7mm)/- /ナデ にぶい褐灰褐 A T42 9 113 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(R,5mm)/- /ナデ にぶい海にぶい褐 B T23 9 115 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(RL,4mm)/- /ナデ にぶい海にぶい褐 B T23 9 116 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい海にぶい褐 B F53 9 117 4群 縄文 茂鉢 胴部 縄文(RL,6mm)/- /ナデ にぶい海底ぶい根にぶい樹 B F53 9 118 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(R,6mm)/- /ナデ にぶい海橋にぶい樹 B F38 9 119 11群 縄文 漫本日式 深鉢 胴部 土がデ にぶい海板にぶい樹 B F38 9 119 12 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕/(A,5mm)/- /ナデ たぶい海板にぶい青砂 B T25 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい海板灰橋 B 青島O32 9 121 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(不)/条痕(8本) ナ にぶい海灰橋 B 青島O36 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(不)/条痕(8本) ナ にぶい海灰橋 B 青島O36 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(6本) ナ にぶい海灰橋 B F23 <tr< td=""><td>_</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td>1/1/9/中</td><td>-</td><td>·</td><td></td><td></td><td>_</td><td></td></tr<>	_	_				1/1/9/中	-	·			_	
9 111 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,10mm)/- /ナデ 反褐/灰黄褐 B F23 9 112 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(R,7mm)/- /ナデ にぶい褐/灰褐 A T42 9 113 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(R,5mm)/- /ナデ にぶい黄褐/にぶい黄色 A F42 9 114 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,4mm)/- /ナデ にぶい黄褐/にぶい黄色 A F56 9 115 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい荷/にぶい黄色 A F56 9 116 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL)/- /ナデ にぶい荷/にぶい荷 B F53 9 117 4群 縄文 - 次鉢 口縁部 発痕/条痕	_	_		_		LA SPIC		·			_	
9 112 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(LR,7mm)/- '/ナデ にぶい褐灰褐 A T42 9 114 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(R,5mm)/- '/ナデ にぶい褐(たぶい黄橙 A F42 9 114 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(R,4mm)/- '/ナデ にぶい褐(たぶい褐 B T23 9 115 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- '/ナデ にぶい褐(たぶい褐 A F56 9 116 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- '/ナデ にぶい褐(たぶい褐 B F53 9 117 4群 縄文 - 没鉢 同部 縄文(RL,9mm)/- '/ナデ にぶい褐(たぶい褐 B F53 9 117 4群 縄文 - 没鉢 同部 縄文(LR,6mm)/- '/ナデ にぶい褐(皮にい褐) B F38 9 119 1群4 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(LR,6mm)/- '/ナデ にぶい海域にぶい荷橙 B F38 9 119 1群4 縄文 - 深鉢 胴部 巻糸夜(たが)- '/ナデ にぶい海域にぶい赤褐(灰砂 B F38 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 巻糸夜(-大が)- '/ナデ にぶい場(灰褐 B 下36) 32 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(-木)/条痕(8本) - '/ナデ にぶい褐(灰褐 B T46+U48+T4 9 123 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) - 「大が 横(たびい褐) B 青島036 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) - 「大が 横(大が B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) - 「大が 横(大が B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) - 「大が 横(大が B F23 9 127 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) - 「大が 横(大が B F23 9 128 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) - 「たぶい褐(大黄 B F29 9 130 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)- 大東 「大東 「大東 「大東 「大東 「大東 「大東 「大東 「大東 「大東	_	-			-							
9 113 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(IR,5mm)/- /ナデ にぶい黄樹/にぶい黄樹 A F42 F45	9	111	3群	縄文	<u>- </u>	深鉢	胴部	縄文(RL,10mm)/-	<i>-</i> /ナデ	灰褐/灰黄褐	В	F23
9 113 3群 縄文 ・ 深鉢 胴部 縄文(IR,5mm)/・ ・/ナデ にぶい黄橙 A F42 9 114 3群 縄文 ・ 深鉢 胴部 縄文(RL,4mm)/・ ・/ナデ にぶい黄橙 C ぶい褐にぶい褐 B T23 9 115 3群 縄文 ・ 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/・ ・/ナデ にぶい黄橙/にぶい黄 A F56 9 116 3群 縄文 ・ 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/・ ・/ナデ にぶい黄橙/にぶい黄 B F53 9 117 4群 縄文 ・ 浅鉢 口縁部 条底/R条底 ・/・ にぶい満度の B F53 9 119 1群 縄文 ・ 深鉢 胴部 縄文(R,6mm)/・ ・/ナデ にぶい赤橙/灰黄樹 B F38 9 119 1群 縄文 里木田式 深鉢 胴部 条痕/(Ta)/条底(Smm)/・ ・/ナデ にぶい素橙/にぶい黄橙 B T25 9 120 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条線/・ ・/ナデ にぶい満皮/広め/灰樹 B 青島032 9 121 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕/- ・/ナデ にぶい満皮/成樹 B 青島037 9 122 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ・/・ 灰褐/灰樹 B 青島036 9 124 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ・/・ 灰褐/灰黄褐 B 青島036 9 124 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(6本) ・/・ 灰褐/灰黄褐 B F23 9 125 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ・/・ 灰褐/灰黄褐 B F23 9 126 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) ・/・ にぶい褐/灰黄 B F15 9 127 4群 縄文 ・ 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ・/・ にぶい褐/灰黄 B F15 9 128 4群 縄文 ・ 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ・/・ にぶい褐/灰黄 B F17 9 129 4群 縄文 ・ 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) ・/・ にぶい褐/灰黄 B F17 9 129 4群 縄文 ・ 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) ・/・ にぶい褐/灰黄 B F29 9 131 4群 縄文 ・ 淡鉢 胴部 条痕(4本) ・/・ にぶい樹/桜 B F29 9 131 4群 縄文 ・ 淡鉢 胴部 条痕	9	112	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(LR,7mm)/-	-/ナデ	にぶい褐/灰褐	A	T42
9 114 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,4mm)/- /ナデ にぶい褐にぶい褐 B F56 9 115 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい遺径にぶい遺褐 A F56 9 116 3群 縄文 - 淡鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい遺伝ぶい褐 B F53 9 117 4群 縄文 - 淡鉢 口縁部 条痕(条痕	_	-		_	-		-	縄文(LR.5mm)/-			_	
9 115 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL,9mm)/- /ナデ にぶい黄橙/にぶい黄褐 A F56 9 116 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL)/- /ナデ にぶい褐/にぶい黄褐 B F53 9 117 4群 縄文 - 浅鉢 旧縁部 条痕/条痕 -/- にぶい褐/炭灰 A U42 9 118 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(LR,6mm)/- /ナデ にぶい満/炭灰 A U42 9 118 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(LR,6mm)/- /ナデ にぶい黄橙/にぶい黄橙 B F38 9 119 1群d 縄文 里木Ⅱ式 深鉢 胴部 燃素文(L,5mm)/- /ナデ にぶい黄橙/にぶい黄橙 B T25 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい赤褐/にざい赤褐/にぶい赤褐 B 青島の32 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(8本) -/- にぶい褐/灰褐 B 青島の37 9 122 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本) -/- にぶい褐/灰褐 B 青島の37 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本) -/- にぶい褐/灰褐 B 青島の36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本) -/- 灰褐/灰褐 B 青島の36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本) -/- 灰褐/灰褐 B 青島の36 9 125 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本) -/- 灰褐/灰褐 B 青島の36 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本) -/- 灰褐/灰褐 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい樹/灰黄褐 B F15 9 129 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい樹/灰黄褐 B F15 9 129 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい樹/灰黄褐 B F29 9 131 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-水丸具/条痕(4本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰 B F29 9 131 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(4本)-工枚具 -/- にぶい樹/灰 B T2 9 131 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(4本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T33 9 132 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T3 9 132 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T3 9 132 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T3 9 133 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T3 9 134 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T3 9 132 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐 B T3 9 134 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-工枚具/条痕(5本)-工枚具 -/- にぶい褐/灰褐/褐 B T3	_	_		_	_						_	
9 116 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(RL)/- -/ナデ にぶい褐/黄灰 A U42 9 117 4群 縄文 - 浅鉢 口縁部 条痕/条痕 -/- にぶい褐/黄灰 A U42 9 118 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(LR,6mm)/- -/ナデ にぶい赤褐/灰黄褐 B F38 9 119 1群d 縄文 里木田式 深鉢 胴部 燃糸文(L,5mm)/- -/ナデ にぶい赤褐/灰黄褐 B T25 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- -/ナデ にぶい褐/灰褐 B 青島O32 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- -/ナデ にぶい褐/灰褐 B 青島O37 9 122 4群 縄文 - 深鉢 同部 条痕(7本)/条痕(8本) -/- にぶい褐/灰褐 B U46+U48+T4 9 123 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) -/- 灰褐/灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(6本) -/- 灰褐/灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) -/- 反褐/灰黄褐 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(7本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F23 9 127 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 130 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)上検具/条痕(4本)上検具/条痕(4本)上検 -/- にぶい橙/灰黄/褐 B F29 9 131 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)上検具/条痕(4本)上板具/条痕(4本)上板具/条痕(4本)上板具/条痕(4本)上板具/条痕(4本)上板具/上 にぶい橙/灰褐 B F29 9 132 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)上検具/条痕(4本)上板具/条痕(4本)上板具/条痕(4本)上板具/上 にぶい樹/灰褐/木 A T16 10 133 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条	_	_				_					+	
9 117 4群 縄文 - 浅鉢 口縁部 条痕/条痕 -/- にぶい褐/黄灰 A U42 9 118 3群 縄文 - 深鉢 胴部 縄文(LR,6mm)/- -/ナデ にぶい赤褐/灰黄褐 B F38 9 119 1群d 縄文 里木田式 深鉢 胴部 然糸文(L,5mm)/- -/ナデ にぶい黄橙/にぶい黄橙 B T25 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- -/ナデ にぶい赤褐/灰褐 B 青島O32 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- -/ナデ にぶい褐/灰褐 B 青島O37 9 122 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(8本) -/- にぶい褐/灰褐 B U46+U48+T4 9 123 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) -/- 灰褐灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(6本) -/- 灰褐灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(6本) -/- 灰褐灰褐 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(7本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F23 9 127 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(5本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)-た枚貝/条痕(4本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F29 9 130 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(4本)-た枚貝/条痕(5本) -/- にぶい褐/灰黄褐 B F29 9 131 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(5本)-た枚貝/条痕(5本) -/- にぶい褐/成 B F29 9 131 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(5本)-たり/条痕(5本)-たり/- <td>-+</td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td><u> </u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td>	-+	_			<u> </u>						_	
9 118 3群 縄文 深鉢 胴部 縄文(LR,6mm)/- //デ にぶい赤褐/灰黄褐 B F38 F38	_	_										
9 119 1群d 縄文 里木II式 深鉢 胴部 撚糸文(L,5㎜)/- /ナデ にぶい黄橙にぶい黄橙 B T25 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい赤褐/にぶい赤褐 B 青島O32 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐/灰褐 B 青島O37 9 122 4群 縄文 - 深鉢 同部 条痕(7本)/条痕(8本) ナ にぶい褐/灰褐 B 1 自らO37 9 123 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ナ 灰褐/灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰褐/灰褐/ 田 A T38 9 125 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 炭褐/ 灰褐/ 田 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/ 灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい褐/ 灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐/ 原褐 B F29 9 130 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(5本) ナ にぶい褐/ 原樹/ スト B T2 9 131 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/ナ 大 にぶい褐/ 原樹/ スト B T33 9 132 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/チ 大 にぶい褐/ 原樹/ スト B T36	9	117	4群	縄文	<u> </u>	浅鉢	口縁部	条痕/条痕	-/-	にぶい褐/黄灰	A	U42
9 119 1群d 縄文 里木II式 深鉢 胴部 撚糸文(L,5㎜)/- /ナデ にぶい黄橙にぶい黄橙 B T25 9 120 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい赤褐/にぶい赤褐 B 青島O32 9 121 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐/灰褐 B 青島O37 9 122 4群 縄文 - 深鉢 同部 条痕(7本)/条痕(8本) ナ にぶい褐/灰褐 B 1 自らO37 9 123 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ナ 灰褐/灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰褐/灰褐/ 田 A T38 9 125 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 炭褐/ 灰褐/ 田 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/ 灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい褐/ 灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐/ 原褐 B F29 9 130 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(5本) ナ にぶい褐/ 原樹/ スト B T2 9 131 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/ナ 大 にぶい褐/ 原樹/ スト B T33 9 132 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/チ 大 にぶい褐/ 原樹/ スト B T36	9	118	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(LR,6mm)/-	-/ナデ	にぶい赤褐/灰黄褐	В	F38
9 120 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい赤褐/にぶい赤褐 B 青島032 9 121 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐/灰褐 B 青島037 9 122 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(7本)/条痕(8本) ナ にぶい褐/灰褐 B U46+U48+T4 9 123 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ナ 灰褐/灰褐 B 青島036 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰褐/灰黄褐 A T38 9 125 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 炭砂/灰褐/灰黄褐 B F23 9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい橙/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/灰褐 B T3 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/ナ たぶい橙/灰褐/ A T16 10 133 4群 縄文 次鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/チ 大砂 /ナ にぶい褐/灰褐 A T16	\rightarrow	_		_	里太Ⅱ式		-	·				
9 121 4群 縄文 深鉢 胴部 条線/- /ナデ にぶい褐灰褐 B 青島037 9 122 4群 縄文 - 深鉢 口縁部 条痕(7本)/条痕(8本) ナー にぶい褐灰褐 B U46+U48+T4 9 123 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ナー 灰褐灰褐 B 青島036 9 124 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナー 灰褐灰黄褐 A T38 9 125 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(6本) ナー 黄灰にぶい褐 B F23 9 126 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナー にぶい褐灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナー にぶい橙灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナー にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本) 土 灰褐灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナー 灰褐/灰褐 B T2 9 131 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(4本)一枚貝/条痕(5本)一枚貝/- にぶい褐/ 医 B T33 9 132 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(4本)一枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナー 灰黄褐褐 A T16 10 133 4群 縄文 - 淡鉢 胴部 条痕(5本)一枚貝/条痕(5本)二枚貝/ナー 灰黄褐/褐 B F47	_	_			/1-#-//			-			_	
9 122 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(7本)/条痕(8本) ナ にぶい褐灰褐 B U46+U48+T4 9 123 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ナ 灰褐灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰褐灰黄褐 A T38 9 125 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 炭板/にぶい褐 B F23 9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナ にぶい褐灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/板灰 B T2 9 131 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナ 灰黄褐褐 A T16 10 133 4群 縄文 次線 口縁部 条痕(9本)/- 大野 ナナデ にぶい褐/灰褐 B F47	_	_									_	
9 123 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(5本)/条痕(6本) ナ 灰褐灰褐 B 青島O36 9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰褐灰黄褐 A T38 9 125 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 黄灰/にぶい褐 B F23 9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/板灰 B T2 9 131 4群 縄文 次銀 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/チ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 次線 口縁部 条痕(9本)/- ナ にぶい褐/灰褐 B F47	_	_		_	-	_						
9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰樹/灰黄褐 A T38 9 125 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 黄灰/にぶい褐 B F23 9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 顕部 条痕(4本) 未痕(4本) 大 灰樹/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/裾灰 B T2 9 131 4群 縄文 次鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 次銀 口縁部 条痕(9本)/- ナ にぶい褐/灰褐 B F47	9	122	4群	縄文	<u>- </u>	深鉢	口縁部	条痕(7本)/条痕(8本)	-/-	にぶい褐/灰褐	В	U46+U48+T40
9 124 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(8本)/条痕(8本) ナ 灰樹/灰黄褐 A T38 9 125 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 黄灰/にぶい褐 B F23 9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 顕部 条痕(4本) 未痕(4本) 大 灰樹/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/裾灰 B T2 9 131 4群 縄文 次鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 次銀 口縁部 条痕(9本)/- ナ にぶい褐/灰褐 B F47	9	123	4群	縄文		深鉢	胴部	条痕(5本)/条痕(6本)	-/-	灰褐/灰褐	В	青島036
9 125 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(6本) ナ 黄灰/にぶい褐 B F23 9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 顕部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/裾灰 B T2 9 131 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(9本)/- 大子 にぶい褐/灰褐 B F47	_	_			-						+	
9 126 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(7本)/条痕(7本) ナ にぶい褐灰黄褐 B F20 9 127 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ナ にぶい橙灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 顕部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/褐灰 B T2 9 131 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(9本)/- 大ナデ にぶい褐/灰褐 B F47	_	_				_					_	
9 127 4群 縄文 ・ 浅鉢 胴部 条痕(4本)/条痕(4本) ・/・ にぶい橙/灰黄褐 B F15 9 128 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(4本) ・/・ にぶい褐/灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 ・ 深鉢 顕部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ・/・ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 ・ 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ・/・ にぶい褐/褐灰 B T2 9 131 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝・/・ にぶい褐/褐灰 B T33 9 132 4群 縄文 ・ 浅鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝・/・ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 ・ 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝・/・ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 ・ 深鉢 口縁部 条痕(9本)/・ ・ /ナデ にぶい褐/灰褐 B F47	_	_									_	
9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 頸部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/褐灰 B T2 9 131 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 ナ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(9本)/- 不食(9本)/- たぶい褐/灰褐 B F47	_	_										
9 128 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本) ナ にぶい褐灰黄褐 B F17 9 129 4群 縄文 深鉢 頸部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) ナ にぶい褐/褐灰 B T2 9 131 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 ナ にぶい褐/褐灰 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/・ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(9本)/・ 大・ にぶい褐/灰褐 B F47	9	127	4群	縄文	-	浅鉢	胴部	条痕(4本)/条痕(4本)	-/-	にぶい橙/灰黄褐	В	F15
9 129 4群 縄文 深鉢 頸部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 /· 灰褐/灰褐 B F29 9 130 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) /· にぶい褐/褐灰 B T2 9 131 4群 縄文 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝/・/・ にぶい橙/にぶい樹 B T33 9 132 4群 縄文 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝/・/・ 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 深鉢 口縁部 条痕(9本)/・ //ナデ にぶい褐/灰褐 B F47	9	128	4群	_	-	_			-/-		В	F17
9 130 4群 縄文 ・ 浅鉢 胴部 条痕(6本)/条痕(5本) -/- にぶい褐/褐灰 B T2 9 131 4群 縄文 ・ 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 -/- にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 ・ 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 -/- 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 ・ 深鉢 口縁部 条痕(9本)/- -/- にぶい褐/灰褐 B F47	_	_			-							
9 131 4群 縄文 - 深鉢 胴部 条痕(4本)二枚貝/条痕(4本)二枚貝 -/- にぶい橙/にぶい褐 B T33 9 132 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 -/- 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 - 深鉢 口縁部 条痕(9本)/- -/ナデ にぶい褐/灰褐 B F47		_			-					0 -1 - 0 -1 -		
9 132 4群 縄文 - 浅鉢 胴部 条痕(5本)二枚貝/条痕(5本)二枚貝 小 灰黄褐/褐 A T16 10 133 4群 縄文 - 深鉢 口縁部 条痕(9本)/- 小ナデ にぶい褐/灰褐 B F47	_	_			-							
10 133 4群 縄文 - 深鉢 口縁部 条痕(9本)/· - /ナデ にぶい褐/灰褐 B F47	_	_									_	
	_	_		_		_					_	
10 194 4光	_	_		_	-		口縁部				_	
10 134 4群 縄文 -	10	134	4群	縄文	-	深鉢	胴部	条痕(6本)/-	-/ナデ	にぶい黄褐/灰黄褐	В	F58

図	No	分類	時代	時期・型式	器形	部位	縄文・条痕(外面/内面) ^{*1}	調整(外面/内面)	色調(外面/内面)	胎土*2	注記/備考*3
10	135	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(8本)/-	-/ナデ	にぶい黄褐/にぶい黄褐	В	F6
10	136	4群	縄文	-	深鉢	胴部	条痕(6本)/-	-/ナデ	にぶい黄褐/にぶい褐	В	Т9
10	137	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(10本)/-	-/ナデ	にぶい赤褐/灰褐	В	T41
10	138	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(6本)/-	-/ナデ	灰黄褐/灰黄褐	A	T29
10	139	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(9本)/-	-/ナデ	褐/にぶい褐	A	T36
10	140	1群d	縄文	里木Ⅱ式	浅鉢	胴部	撚糸文 (L?、7mm)	-/ナデ	灰褐/灰褐	В	F39
10	141	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(8本)/	- /ナデ	にぶい赤褐/灰褐	A	F49
10	142	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(5本)/-	ナデ/ナデ	灰黄褐/褐灰	A	F37
10	143	4群	縄文	-	-	胴部	条痕(5本)/-	-/ナデ	にぶい褐/灰黄褐	В	F21
10	144	3群	縄文	-	深鉢	胴部	縄文(LかLR、8mm)/-	- /ナデ	灰黄褐/にぶい黄橙	Α	T5
10	145	4群	-	-	-	胴部	条痕(6本)/-	- /ナデ	にぶい褐/灰黄褐	В	F50
10	146	4群	-	-	-	頸部	条痕(5本)/-	-/ナデ	黒褐/灰褐	A	T17
10	147	4群	-	-	-	胴部	条痕(5本)/-	-/ナデ	灰黄褐/灰黄褐	A	T24
10	148	4群	縄文	-	深鉢	胴部	-/-	ナデ/ナデ	褐灰/灰褐	В	F2
10	149	4群	-	-	-	胴部	条痕/-	ナデ/ナデ	にぶい褐/にぶい褐	A	F40
10	150	4群	縄文	-	深鉢	胴部	条痕/条痕(7本)	-/-	灰褐/にぶい褐	В	T47
10	151	4群	縄文	-	深鉢	胴部	-/条痕(5本)	ナデ/-	灰褐/灰褐	A	T27
10	152	4群	縄文	-	深鉢	胴部	-/条痕(4本)	ナデ/ -	にぶい褐/にぶい黄褐	A	T14
10	153	5群	弥生	-	壺?	頸部	条痕(14本)/条痕(13本)	-/-	灰黄褐/にぶい褐	В	F24
10	154	5群	弥生	前期?	甕	口縁部	条痕(5本)/-	-/ナデ	にぶい褐/灰褐	В	U37
10	155	5群	弥生?	-	甕?	口縁部	-/-	ナデ/ナデ	灰褐/褐灰	В	F59
10	156	2群i	縄文?	後期?	深鉢?	口縁部	-/-	ナデ/ナデ	灰褐/にぶい褐	В	U45
10	157	5群	弥生?	-	甕	胴部	条痕(4本)/-	-/ケズリ	灰黄褐/にぶい褐	В	F22
10	158	5群	弥生?	-	甕	胴部	条痕(5本)/-	-/ナデ	灰褐/にぶい赤褐	A	T15
11	159	6群	縄文	-	深鉢	底部	条痕(6本)/-	-/ナデ	灰黄褐/にぶい褐	A	T46
11	160	6群	縄文	-	深鉢	底部	条痕(9本)/-	-/ナデ	にぶい褐/灰褐	A	T7/網代底
11	162	6群	-	-	深鉢	底部	-/-	ケズリ <i>l</i> ナデ	にぶい黄褐/	В	F11
11	163	6群	-	-	深鉢	底部	条痕/-	-/ナデ	灰黄褐/灰黄褐	A	F5
11	164	6群	-	-	深鉢	底部	-/-	ナデ/ナデ	にぶい褐/灰黄褐	A	F9
11	165	6群	-	-	深鉢	底部	-/-	ナデ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐	В	U14
11	166	6群	-	-	深鉢	底部	-/-	ナデ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐	В	F1
11	167	6群	-	-	深鉢	底部	-/-	ナデ/ナデ	灰黄褐/灰黄褐	A	F3
11	168	6群	-	-	深鉢	底部	-/-	ナデ/ナデ	灰褐/灰褐	A	F60
11	169	6群	-	-	ŀ	底部	-/-	ナデ/ナデ	にぶい褐/灰褐	В	F30
11	170	6群	-	-	Ŀ	底部	-/-	ナデ/ナデ	黄灰/褐灰	В	F54